

2014 年度 小委員会活動成果報告

(2015 年 1 月 19 日作成)

小委員会名	変動磁場計測評価小委員会		主 査 名：新納 敏文 就任年月：2013 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (電磁環境運営委員会)		委員長名：田辺 新一 主 査 名：吉野 涼二
設 置 期 間	2013 年 4 月 ～ 2015 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鉄道沿線における変動磁場の計測評価法に関する環境規準の策定 ・ 磁気環境に関する次期環境規準のテーマ探索 ・ 初年度：WD (Working Draft) 作成，次期環境規準のテーマ探索 ・ 2 年度：WD (Working Draft) 完成，次期環境規準のテーマ決定 		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無 主査：新納敏文 (鹿島建設)，幹事：宇治川 智 (鹿島建設)，委員：石塚一男 (リケン環境システム)，江口晃司 (日本電子)，川瀬隆治 (東急建設)，久保直也 (きんでん)，國分 誠 (清水建設)，榊原宏行 (関電工)，榊原 満 (オータマ)，篠 健次郎 (電機資材)，田代英太 (波動システム研究所)，藤岡友美 (大成建設)，増原秀樹 (日立製作所)，三浦一幸 (竹中工務店) 計 14 名		
設置 WG (WG 名：目的)			
2014 年度予算	5,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	6 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鉄道沿線における変動磁場の計測評価法に関する環境規準の策定 →WD (Working Draft) 完成，2015 年度_企画刊行小委員会へ移行 ・ 磁気環境に関する次期環境規準のテーマ探索 →ヒアリング・見学会実施，2015年度_WG立上げ
委員会活動の問題点 ・ 課題	
運営委員会関連 刊行物・催し物	< 催し物 > 建築電磁環境に関する研究発表会 2015 (2015.2.24 開催) (資料名) 建築電磁環境に関する研究発表会 2015 資料

*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。
*表中の「(書名)」等の赤文字は、記述を誘導するための説明である。記載の有無にかかわらず最終的には削除のうえ提出すること。

- * 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。
- * 中間年度には中間評価を、最終年度には最終評価としての自己評価を記入すること。

環境工学委員会用 自己評価欄

2014 年度 小委員会活動 自己評価 (最終年度評価)

総合評価 (4 段階評価)	A B C D
<p style="text-align: center;">総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)</p>	<p>2つの実施項目について、それぞれの実施内容及び成果を記す。</p> <p>1. 鉄道沿線における変動磁場の計測評価法に関する環境規準の策定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「鉄道沿線における変動磁場の計測評価法規準・同解説」の原稿審議 →WD (Working Draft) 完成 ・「変動磁場の計測評価法規準作成小委員会」設置申請 →2015 年度から企画刊行運営委員会へ移行, AIJES 発行を目指す。 <p>2. 磁気環境に関する次期環境規準のテーマ探索</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉄道分野の技術情報収集として, 交通安全環境研究所にヒアリング実施 (2014 年 8 月 6 日) ・生体磁気計測の最新情報収集として, 金沢工業大学先端電子技術応用研究所の見学会開催 (2014 年 9 月 2 日) ・「磁気環境技術テーマ検討 WG」設置申請 →2015 年度から WG で新テーマを検討する。

- 総合評価は4段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
 - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
 - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から 80%の達成度
 - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から 70%の達成度
 - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価 (シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など) に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。